

※別途有料にて、リアルタイム動画配信を実施します。視聴希望の方はこちらからお入りください。

●第9回構造物と地盤の動的相互作用シンポジウム●

最近の被害地震における地盤震動・動的相互作用の現象把握と構造設計への取り組み

<主催> 日本建築学会 構造委員会 振動運営委員会 基礎構造系振動小委員会

昨年3月に発生した東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）においては、建物への入力地震動の設定や構造・非構造部材の耐震性、および地盤の液状化への対策など、数多くの課題が提起された。基礎構造系振動小委員会では、この地震から得られた知見を整理し、表層地盤や建物の揺れの状況を捉えてその挙動解明を行うとともに、過去の被害地震との比較を行う。また特別講演として、東日本大震災における基礎構造の被害と特徴に関する最新の情報を取り入れるとともに、過去の地震における杭基礎被害に対するシミュレーション解析を行い、基礎構造に作用した外力の推定や被害要因の分析を行う。さらに、これらの性状を踏まえ、南海トラフの巨大地震や首都圏直下地震等、将来の大地震に対する建物の耐震設計をどのように考え、その中に動的相互作用の現象をどのように取り入れていくかについて、いくつかの観点から検討を加える。最後に、会員からの広い立場でご意見をいただき、将来に向けた地盤震動や動的相互作用の検討内容や方向性について考えてみたい。

日時： 2013年1月11日（金）10:00～17:20

場所： 建築会館ホール（東京都港区芝5-26-20）

内容（各講演題目はすべて仮題）

主旨説明 10:00～10:10 : 飯場正紀（小委員会主査／建築研究所）

第Ⅰ部 東日本大震災における地震動・地盤増幅・動的相互作用 10:10～11:40 司会：木村 匠（清水建設）

- 1-1 地震動の特徴 : 永野正行（東京理科大学）
- 1-2 表層地盤の増幅特性の検証 : 柳下文雄（東電設計）
- 1-3 地盤の液状化現象と建物応答 : 船原英樹（大成建設）
- 1-4 建物と地盤の地震観測に基づいた動的相互作用特性 : 飯場正紀（前掲）

第Ⅱ部 東日本大震災等における杭基礎構造等の被害と分析 12:40～14:10 司会：木村 匠（前掲）

- 2-1 特別講演「東日本大震災における基礎構造の被害と特徴」 : 中井正一（千葉大学）
- 2-2 兵庫県南部地震・十勝沖地震における杭基礎被害のシミュレーション解析 : 柏尚稔（大阪大学）
- 2-3 東日本大震災・岩手宮城内陸地震における杭基礎被害のシミュレーション解析 : 山添正稔（小堀鐸二研究所）

第Ⅲ部 大地震に対する耐震設計への動的相互作用効果の導入に向けて 14:10～16:00

司会：吉澤睦博（防災科学技術研究所）

- 3-1 動的相互作用・刊行物の内容の課題・見直しについて : 田守伸一郎（信州大学）
- 3-2 上部構造-基礎構造の一体モデルによる構造設計の考え方 : 小室 努（大成建設）
- 3-3 杭周面の地盤ばねの設定（静的と動的な地盤ばねの融合に向けて） : 間瀬辰也（東電設計）
- 3-4 液状化を含む地盤変位の算定法と杭の変形・応力への影響 : 新井 洋（国土技術政策総合研究所）
- 3-5 杭応力評価における上部構造慣性力と地盤変位の影響の重ね合わせ : 藤森健史（大林組）
- 3-6 基礎構造の二次設計も配慮した動的相互作用効果の耐震設計への導入 : 護 雅史（名古屋大学）

第Ⅳ部 総合討論 16:10～17:10

司会：飯場正紀（前掲）・田守伸一郎（前掲）

まとめ 17:10～17:20

: 宮本裕司（大阪大学）

記録：酒向裕司（小堀鐸二研究所）

定員： 180名（当日会場先着順）

参加費： 会員 5,000円、会員外 6,000円、学生 3,000円 *資料代 3,000円含む

問合せ： 事務局研究事業グループ 伏見 Tel.03-3456-2057